

平成26年度

# 事業実績

地域福祉活動

ボランティア・市民活動センター

在宅福祉サービス事業

法人運営

豊岡市社会福祉協議会

## 目 次

平成26年度事業活動の総評	2
使命1 自ら行動し地域を動かす社協	3
1. 多様な住民ニーズを受け止めて対応する機能の整備と充実	3
2. 地域とのつながりのある関係	5
3. 総合相談体制の構築	6
使命2 つながる・つなげる社協	10
1. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへの体制づくり	10
使命3 信頼される社協	13
1. 社協の事業体組織としての機能強化及び運営強化	13
2. 職員の人材育成に向けた基盤整備	14
3. 住民に見える社協活動	15
4. 安定した財源確保と健全な財政運営	15
豊岡市社会福祉協議会事業活動	19
1. 地域福祉活動	19
2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習	33
3. 介護保険・障害者サービス	36
4. 在宅福祉サービス	40
5. 法人運営	43

## 平成26年度事業活動の総評

昨今の社会状況は急激な変化をみせています。少子高齢化の進行、単身世帯の増加などにより介護・医療・福祉のニーズが増加するとともに課題が多様化、複雑化してきています。また、長引く不景気の影響により失業者・低所得者の問題も顕在化し、既存の制度・機関だけでは対応できない問題が表面化してきていることから、地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会が対応するべきことが多くなってきています。

こうした社会状況にあつて、社会福祉協議会が今まで培ってきたことを活かしながら地域福祉を推進することと、その一方で将来像をしっかりと描いた経営組織としての戦略を立てなければならぬ状況にあります。地域住民の身近な存在として、今後さらに必要とされ、信頼される組織として期待に答えていくために、経営戦略をしっかりと打ち出し、さらに目標に向かって着実に地域福祉活動を進めていく必要があります。

このような状況の中、豊岡市社会福祉協議会では『第2次豊岡市地域福祉推進計画（平成25年度－平成28年度）』の2年目となる平成26年度、地域住民が抱える多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組みづくりを推進しました。

また、本会が一丸となつて事業の推進に取り組むために『豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画（平成26年度－平成30年度）』に基づき、住民に必要とされる社協となるため、理念やめざすべき方向性を明確にし、基本理念として掲げた「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」を進めていくため、地域住民に信頼される社協をめざし、職員一人ひとりが社協職員としての基本的な考え方を共有し、能力の向上及び組織の改善と強化を図りました。

### 基本理念

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

## 【使命1】

### 自ら行動し、地域を動かす社協

～住民のニーズをキャッチし、解決に向けて行動します～

## 1. 多様な住民ニーズを受け止めて対応する機能の整備と充実

住民の声に耳を傾け、ニーズを把握することは、社協の役割としてもっとも重要なことです。そのうえで、把握した地域課題（ニーズ等）の解決に向け、いち早く様々な視点から対応することが役割として求められています。

本会においては、高齢者に対して、訪問介護や通所介護、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等、障がいのある方に対して障害者基幹相談支援センター、意思判断能力に不安のある方に対して福祉サービス利用援助事業など、様々な在宅福祉サービスを実施していますが、これまで、キャッチしたニーズを組織的に整理することや、各部署や事業所を横断した蓄積や分析、また、新しいサービスの構築や、地域全体に向けた啓発等、ニーズへの対応力が弱い状況にありました。

住民ニーズを集約・分析するために、職員間の情報共有、意識共有を図る等の組織内の連携体制の構築に取り組みました。また、介護保険制度や障害者総合支援制度等の制度に基づくサービスといったフォーマルサポートと、地域住民が行う見守り活動等といったインフォーマルサポートをつないでいくため、組織内或いは専門機関のみでニーズ・課題に対応するのではなく、住民への情報をフィードバックし、連携を図りながらニーズ・課題へ対応する体制づくりを進めました。

### (1) 地域福祉担当者のエリア担当制の導入

地域福祉課地域福祉係及び各地区センターにおいて、地域住民のニーズの集約から協働した支援までを円滑に実施できるよう、地域福祉担当者（コミュニティワーカー）の地区（小学校区）または行政区担当制の導入を開始しました。

担当制により、担当者が繰り返し担当行政区に出向き、地域の情報をよく知る住民へのヒヤリングやサロン世話役等と支え合いマップづくりに取り組み、住民の営みを把握するために、見守り活動等を行う住民、住民交流の場、生活課題を洗い出し、行政区によっては生活課題の共有・解決に向けた住民の話し合いの場（見守り会議）や、気になる世帯の見守り活動へつながりました。

### (2) 地域課題、社会資源情報の集約

#### ○職員ミーティング

本会では、これまで各部署・事業所でキャッチした住民ニーズや生活課題を組織として横断的に共有する場がなく、介護サービス事業に従事する職員は、制度やサービスによる支援にとどまり、利用者を地域で支えるという視点が不足していました。

各職員が、訪問先の利用者やその家族、地域住民のニーズや生活課題を早期発見し、

組織内で情報を横断的に共有し、課題解決に向けた意識の共有、フォーマルサポート（介護保険サービス等）とインフォーマルサポート（住民の支え合い）による効果的な支援につなげるために、介護サービス事業所職員と地域福祉担当職員による「職員ミーティング」に取り組みました（地区センター単位で週1回程度）。

ミーティングを通じて、これまでそれぞれの部署・事業所で止まっていた住民ニーズや社会資源情報の横断的な共有を効果的に進めました。特に、毎日利用者や地域住民と接している地域包括支援センター、ケアマネジャー、ヘルパー等は多くの地域情報を掴んでおり、ミーティングを通じて組織内で共有することで、地域の特性、詳細な生活課題が明らかとなりました。

また、情報の共有に止まらず、地域の生活課題の解決に向けて支援目標を共有し、各部署・事業所の役割の明確化、事例検討を通じて連携が強化され、組織として課題解決に取り組む体制づくりが進みました。

### （3）基本理念・方針等の浸透に向けた職員研究チーム

本会基盤強化計画の基本理念・方針の通常業務への浸透、組織全体の牽引役となる実践体制の構築に向けて、地域包括支援センター、総合相談・生活支援センター準備室、訪問介護、通所介護、地域福祉担当職員による職員研究チームを立ち上げました。

月1回、困難事例検討を通じて、「社協にしかできないこと」「社協だからこそできること」への気づき、横断的な連携・協働することの必要性について認識を図り、地域の個別課題を地域支援へ展開していく具体的な取組みの検討を行いました。

介護サービス事業所職員、地域福祉担当職員が事例検討を通じて、社協組織としての支援の展開による地域課題の早期発見・対応への気づき、日々の業務で実践することを重ねていく中で、基本理念、使命の浸透を図りました。

開催日	内容
H26.7.28	社協の価値観や目的の醸成に向けたグループワークの手法について（個別支援から地域支援に向けた取り組み等） 講師：箕面市社協地域福祉推進課長高田浩行氏
H26.8.22	
H26.9.26	職員研究チーム第1回検討会 「認知症のある高齢者夫婦が住み慣れた地域で暮らし続けるために」
H26.10.24	職員研究チーム第2回検討会 「知的障がいのある本人と認知症の母の生活を支える」
H26.11.28	職員研究チーム第3回検討会 「認知症の母親と精神不安定の長男への支援」
H26.12.24	職員研究チーム第4回検討会 ・第1回～第3回検討会の振り返り及び、今後事業所取り組む目標について
H27.1.23	職員研究チーム第5回検討会 「要支援の父親と精神障がいの長男への支援」
H27.2.20	職員研究チーム第6回検討会 「認知症で他人のことは受け入れない一人暮らし高齢者への支援」

## 2. 地域とのつながりのある関係

本会では、第2次地域福祉推進計画の重点目標として掲げている「支え合いの地域づくり（福祉委員会）」を推進するため、地域住民自身が主体的に地域づくりに取り組むことができる仕組み・体制（組織化）づくりを計画的に進めるとともに、その評価体制の構築を行いました。

特に、「支え合いの地域づくり」については、新しい地域コミュニティづくりのモデル地区の行政区で重点的に推進を図りました。

### (1) 新しい地域コミュニティ組織の支援

今年度、中筋・八条・奈佐（豊岡）、中竹野（竹野）、西気（日高）、弘道（出石）、資母・合橋・高橋（但東）地区が、新しい地域コミュニティのモデル地区として豊岡市から指定を受け、各地域組織や地域住民が参画し、地区公民館を拠点として地域課題の解決や新たな取り組みを行っていくために、地域住民が主体的に組織づくりを進めています。

各新しい地域コミュニティ組織では、主に地域振興、地域福祉、地域防災、人づくりの四つの分野が重点機能として位置づけられていますが、大半の組織において各部会で具体的に取り組むことが明確になっていないことが課題でした。

その中で、地域福祉部会が、校区エリアの地域福祉推進の中核的な組織としてその機能が発揮されるよう各モデル地区の（準備）委員会に地域福祉担当職員が参画し、本部会が行政区では解決できない生活課題の共有、解決に向けた協議の場となるよう提案・働きかけを行い、合橋地区（但東）では、住民による生活支援ボランティアが試験的に実施されました。

#### ①地域ニーズ・生活課題の抽出

新しい地域コミュニティ地域福祉部会が地域福祉の中核的な組織として機能するには、その土台となる行政区の課題解決力の底上げが必要です。

そのために、地域福祉担当職員が地域住民と支え合いマップづくりに取り組み、住民の営みや社会資源（人的・物的）等の洗い出しを行うとともに、住民が生活課題（買い物、移送、雪かき、食事、介護等）に気づき、その解決に向けた取り組みを住民とその場で考え、できることから取り組むよう働きかけ、提案を行いました。

支え合いマップづくりを通じて、住民の生活課題に対する意識が高まり、困り事の解決に向けた取り組みや、継続的な見守り会議や防災訓練の実施、また住民の交流の場として区会館を利用して「ふれあい喫茶」を立ち上げた行政区があるなど一定の効果を生み出しています。

しかし、課題には気づいても具体的な取り組みにつながっていない行政区もあり、地域福祉担当職員から継続的に住民に課題解決へ向けた働きかけ・提案が必要です。

#### ②福祉委員会（見守り会議）の推進

支え合いマップづくり等で地域の生活課題を共有した行政区においては、生活課題の解決に向けて、継続的に住民が話し合う見守り会議の必要性について住民の気づきを促し、行政区によってはサロン開催時等に併せて見守り会議が始まりました。

見守り会議を通じて、気になる世帯の見守り訪問やサロンへの参加につながっているケースもある一方で、話し合いは行われるものの具体的な活動に発展していない行政区も多いことか

ら、見守り会議においては、地域福祉担当職員から住民の生活課題への気づきと解決に向けた働きかけなどが必要です。

## (2) 支え合いの地域づくりの評価体制

各行政区で福祉委員会（見守り会議）の体制が計画的に推進されるよう「地区センター地域福祉短期活動計画（3ヶ月計画）」に基づいて計画的に小地域福祉活動の支援に取組み（地域住民へのヒヤリング、支え合いマップづくりによる生活課題・社会資源の把握等）、その取り組んだ活動内容と効果・課題を地区センター運営委員会に報告し、評価を受けることで支え合いの地域づくりが着実に推進される体制構築を進めました。

また、第2次地域福祉推進計画の評価・検証機関である地域福祉推進委員会において、各地区センターの福祉委員会（見守り会議）の体制構築に向けた活動内容について報告し、今後の取組み方針について検討を行いました。

### 【地域福祉推進委員会の開催状況】

開催日	協議事項
H26.7.9	・平成25年度 豊岡市地域福祉推進計画の取り組みに関する評価 ・平成26年度 豊岡市地域福祉推進計画の取り組みの推進方法について
H26.10.3	視察研修 視察先：高島市社会福祉協議会（滋賀県）
H26.12.19	・高島市社会福祉協議会視察研修のふりかえり ・支え合いの地域づくりの進捗状況について
H27.3.20	・平成26年度地域福祉推進状況について ・生活支援コーディネーターの設置について

## 3. 総合相談体制の構築

### (1) 総合相談・生活支援センター準備室の設置

平成27年4月から「生活困窮者自立支援法」が施行されるのに先立ち、平成26年4月より生活困窮者自立促進支援モデル事業を豊岡市から委託を受け、包括的・総合的支援を行う中核となる「総合相談・生活支援センター準備室」を立ち上げました。

総合相談窓口設置の背景には、生活保護に至る前の経済的困窮者への早期支援、地域から孤立している者の早期発見、複合的な課題を抱えている方が制度の狭間に陥らないように包括的・総合的な支援が求められていることにあります。

#### ○総合相談の対象者

- ・ 生活保護の受給に至らない生活困窮者  
現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者
- ・ 複合的な課題を抱える者（世帯）  
多職種による支援チームのマネジメントが必要なケース
- ・ 制度の狭間にある者  
既存の制度、サービスでは受けきれない者

## ① 市内トータルサポート体制の構築

総合相談・生活支援センターの役割は、前面に立って全ての相談・課題を受け止め解決していくものではなく、市・社協内の「市内トータルサポート体制」を構築し、各相談機関をバックアップすることでネットワークによる切れ目のない支援体制をつくることです。

### ○関係機関へのヒヤリング調査

市内トータルサポート体制の構築に向けて、各関係機関が抱えている課題、他機関との連携状況、支援困難ケース等についてヒヤリング調査を実施し、各機関の連携の弱さ、課題が早期発見されていない現状等が明らかになりました。

### ○豊岡市総合相談支援ネットワーク推進協議会組織

ネットワークによるニーズ発見機能、相談支援機能、予防機能を展開するとともに、市・社協内の市内連携体制を具体的に構築するために「豊岡市総合相談支援ネットワーク推進協議会」を組織しました。

協議会を効果的、計画的に推進するため、支援の仕組み全体の評価等を行う管理職で構成される「トータルサポート代表者会議」と、個別ケースの支援方法を確立するとともに、各機関が抱えている課題の共有により、課題解決へと導く実務者（スーパーバイザー等）で構成される「トータルサポート実務者会議」を設置しました。

そこでは、緊急食料支援の事業化に向けた協議・研究を行いました。

部 門	構 成 員	機 能
トータルサポート 代表者会議	市・市社協の課長 級	・ 支援システム全体の評価 ・ 制度・サービスの柔軟運用、新しい社会資源の開発・検討 等
トータルサポート 実務者会議	市・市社協の係長 級	・ 個別ケースの支援方法の確立 ・ 各機関が抱えている課題の共有、課題解決へ向けた検討

## ② 出口づくりに向けた地域の社会資源づくり

経済的困窮者或いは複合的な課題を抱える世帯等の多くは地域から孤立している一方で、地域の支え合う力が低下していることで、場合によっては排除されているケースもあることから、地域で支える社会資源づくりを進めました。

- ・ 個別支援会議による地域住民と専門職の連携体制づくり
- ・ 支え合いマップづくりによる地域住民の課題を抱える世帯への気づき、地域のサポート体制づくり（見守り訪問、おすそ分け、地域行事への参加等）
- ・ 相談者が地域に受け入れられるよう、ゴミ屋敷の清掃活動等へ地域住民と共に取り組む
- ・ 身寄りのないひとり暮らし高齢者が亡くなられたケースにおける地域住民と関係機関の協働による葬祭の支援



## (2) 地域包括支援センター

高齢者の総合相談機関として保健・医療、権利擁護、認知症等さまざまな課題について相談に応じ、必要なサービスにつなげるなどできる限り自立した日常生活が送れるよう支援を行ってきましたが、これまで介護サービスによる解決を図ろうとすることが多く、地域住民と協働した支援が十分にできていませんでした。

しかし、地区センター内の課内ミーティング等を通じて、地域の社会資源（人的・物的）を具体的に共有できたことで、地域の支え合い活動の担い手等と協働しながら個別課題に取り組むことができました。

また、相談業務を通じて、その家族の障がい、貧困、児童の不登校、若年層のひきこもり等、解決しなければならない多くの複合的な課題が発見・キャッチされ、障害者相談支援事業所、総合相談・生活支援センター準備室等と連携を取りながら、利用者だけでなく世帯全体の地域生活のサポートに取り組みました。

## (3) 障害者基幹相談支援センター

障がい者の総合相談機関として、引きこもり、貧困、虐待、就労、施設から地域生活への移行等さまざまな相談に応じ、障がい者が住み慣れた地域でその人らしく暮らせるよう関係機関、地域住民と協働しながら支援を行いました。

支援しているケースには、利用者本人だけでなく、その家族も支援が必要と思われる(判断力の欠如、虐待の恐れ等)方も多く、世帯全体のサポートを重点的に行いました。

また、今年度より、豊岡市障害者自立支援協議会の運営を担い、関係機関・団体等の協議のテーブルづくりをすすめ、就労、障がい児サービス、地域定着等の視点から地域課題の背景・要因の整理、課題解決に向けた検討、市への提言を行い、障がい者を支える地域づくりに取り組みました。

○市への提言内容

- ・障がい者の就労しやすい環境づくりに向けた交通手段の改善
- ・安定した地域生活の基盤づくりに向けて市営アパート等へ入居しやすい環境の整備

## (4) 社協がもつセーフティネット機能による支援

福祉サービス利用援助事業や資金貸付事業（生活福祉資金、法外援護資金）等の社協のセーフティネットを活かして、判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者や低所得者の生活の安定・自立を促しました。

### ①福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者の福祉サービス利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。認知症高齢者や障がい者の安定した地域生活を支える事業として、本事業のニーズは益々高まっており、金銭管理にとどまらず、就労・住宅・居場所・権利侵害・ゴミ問題等、生活全般に係るさまざまな支援を行い、利用者の生活改善や生活困窮の予防の役割を果たしました。

しかし、本事業でこのように広範に課題に対応する背景には、課題が多岐にわたり、また制度の狭間にある問題が多く、つなぎ先がなかったり、どの機関が主導的に支援を調整するのか

曖昧であったりするため、本事業が制度の枠を超えて対応しているという現状があります。

今後は、関係機関と連携を図りながら、役割を明確にし、ネットワークでさまざまな課題に対応する体制の構築を図る必要があります。

#### 契約数（平成27年3月末現在）（単位：件）

	豊岡市	香美町	新温泉町	合計
平成26年度	62	11	1	74

#### 契約者内訳（単位：人）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
32	20	21	1	74

#### ②生活福祉資金、法外援護資金

低所得者、障がい者、高齢者に対し、資金の貸付と相談支援を行うことで、経済的自立と生活の改善を促しました。

資金貸付相談に至る理由は、失業、債務返済、資金返済中に再度貸付を希望するケース等がありますが、償還が見込めないため貸付に至らないケースも多くあります。

貸付に該当しなくても、何らかの支援の必要性があるケースについては、総合相談・生活支援センター準備室、市生活援護係や暮らしの相談室と連携を図りながら対象者の地域生活を支援しました。

#### ○生活福祉資金貸付状況

資金種類	件数	貸付金額
福祉資金	0件	0円
教育支援資金	3件	970,000円
総合支援資金	6件	2,120,000円
緊急小口資金	5件	500,000円

#### ○法外援護資金貸付状況

貸付件数	7件
貸付金額	340,000円

## 【使命2】

### つながる・つなげる社協

～新たなつながりをつくり、先駆的な取り組みに挑戦します～

## 1. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへの体制づくり

社協は、把握した住民ニーズに基づいて、先駆性を発揮しながら、事業・活動の開発や改善等に取り組んできました。また同時に、制度から漏れた人々や目まぐるしい制度変化等の対応を行うなどの即応性も求められています。

しかし、これまで本会では住民ニーズに基づいた新たなサービスの開発に取り組めず、また、既存事業の効果について評価を行ってこなかったために、例年実施している事業を繰り返し実施してきました。

平成26年度は住民ニーズ等に基づいた、新たなサービスの開拓に向けた基盤づくりに取り組みました。

### (1) 新規事業・サービスの開拓に向けた協議体としてのテーブルづくり

社会情勢の大きな変化により、既存の制度やしきみでは解決できない様々な生活課題を抱えた市民が多くなっている中で、課題の解決に向けて、地域の仕組みづくりや新たな社会資源の開発の検討を行いました。

具体的には、後藤至功氏（佛教大学福祉教育開発センター講師）を講師に、事例検討を通じて、コミュニティワークを進める上で必要な視点・価値・展開方法等について理解を深めるとともに、各テーマごとに職員研究チームを立ち上げ、実践、先進地視察等を通じて具体的に検証しながら、事業化に向けた企画提案を行いました。その中から、生活困窮者を対象とした緊急食料支援事業について、次年度の事業化に向けて、総合相談・生活支援センター準備室を中心に、「トータルサポート実務者会議」で市各関係課と社協の研究の場をもつなど、具体的に事業化に向けた検討を行うことで、以下のような成果が現れはじめました。

①これまで本会に不足していた『協議体組織』としての役割を職員が認識し、協議・検討する場づくりに取り組みました。

②緊急食料支援事業のように、社協の先駆性を活かした事業化を開始しました。

しかし、企業・団体等との協議の場づくりには取り組めていない課題があることから、今後、『協議体組織』の基盤づくりに向けた企業・団体等との話し合いの場づくりに取り組む必要があります。

### (2) 障害者（児）の居場所づくり等による社会参加の拡大

障害者（児）の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。事業を推進してから3年目になりますが、平成26年度をもって市内全域での実施に至り、現在では企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生が主体となって関わるなど、障害者（児）の居場所として定着化が進んでいます。

地域	実施回数	場所	延べ参加者数
豊岡 (北中校区)	4回	五荘地区公民館	84人
豊岡 (南中校区)	3回	喫茶「ラ・ティエラ」	78人
城崎	3回	城崎健康福祉センター	82人
日高	4回	日高健康福祉センター、日高農村環境改善センター	152人
出石	4回	弘道地区公民館、出石健康福祉センター	210人
但東	4回	但東健康福祉センター、平田区公園	128人

### (3) 災害救援活動体制の強化

社協活動の根拠は「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」であり、普段の地域福祉活動の延長線上として災害を未然に防ぎ、災害が発生した際には速やかに普段の暮らしを復興していく災害救援活動があることから、災害救援活動は社協活動から切り離すことはできないものであり、今年度は被災地の救援活動を踏まえ、災害救援活動体制の一層の強化に取り組みました。

#### ① 豊岡市との連携強化

- ・災害時における災害対策現地情報連絡員（リエゾン）の設置及び豊岡市対策本部への派遣の位置づけ
- ・災害ボランティアセンターの設置等に関する協定書の締結（設置者、費用負担等）

#### ② 組織内の強化

- ・「災害時職員対応マニュアル」、「災害ボランティアセンター活動マニュアル」の改訂

#### ③ 救援活動の迅速な実施

- ・被災した地域（丹波市）に、豊岡市を含む各種関係機関と連携し、市民協働のもとボランティアバスによる支援活動や職員による災害ボランティアセンター運営支援を行う等、迅速な救援活動を行いました。（丹波市：ボランティアバスの運行：4回、社協職員派遣：3名）

ボランティア派遣

活動先	主催	派遣日	人数
丹波市市島町	豊岡市・豊岡市社会福祉協議会	H26.8.23	21人
		H26.8.24	20人
		H26.8.30	24人
		H26.8.31	23人

職員派遣

派遣先	派遣期間	人数	活動内容
市島サテライトセンター	H26.8.18	1人	活動資機材の運搬
丹波市災害ボランティアセンター	H26.9.1～ 9.6	3人	災害ボランティアセンターの運営支援

### 【使命3】

## 信頼される社協

～地域福祉をしっかりと推進できる社協組織をめざします～

### 1. 社協の事業体組織としての機能強化及び運営強化

社会福祉協議会は市民が抱えるニーズ・福祉課題を解決するべく、新たなサービス等の開発に先駆的に取り組む事業体組織としての機能を担いますが、本会は介護保険制度等の目まぐるしい制度変更や、制度の狭間の問題等に対して十分な対応ができていない状況にあります。

また、社協活動には、住民参加が何よりも不可欠です。この住民参加の大きなひとつの手段として、理事会、評議員会、地区センター運営委員会や各部会・委員会等での住民参加の場はあるが、地域住民や選出団体が様々な意見を積極的に出しあうプラットフォーム（※）機能が弱い状況です。

地域住民ニーズ・福祉課題に迅速に対応できる組織づくりをめざして、マネジメント機能の強化、住民参画による組織運営を担保できるよう理事、評議員、運営委員の選出区分・役割や、部会・委員会のあり方等について総務部会を中心に検討を行いました。

※プラットフォーム：地域において住民や各団体、関係機関が集まり意見交換をできる場やその機能。

#### 【総務部会開催状況】

開催日	協議事項
H26.11.27	・基盤強化計画の進捗状況について ・法人全体の状況について 財政状況、職員の状況、コンサル分析（介護保険）について
H26.12.17	・役員並びに会議のあり方について 理事、評議員、運営委員の選出区分について 理事、評議員、運営委員の役割 ・人材育成基本方針について 人材育成基本方針にかかる職員アンケート結果 人材育成基本方針骨格（案）
H27.1.29	・財政状況について ・役員を選出区分、定数及び会議の開催回数、役割について 理事（理事会）評議員（評議員会）について 部会・委員会について 運営委員（運営委員会）について ・平成27年度組織再編に向けて
H27.2.17	・運営委員会（運営委員）の役割について

	運営委員会規程について ・組織再編について 平成27年度組織図（案）について 地区センター事務の概要について
H27.3.10	・運営委員会規程について ・組織再編について ・人材育成基本方針（案）について
H27.3.16	・組織再編について

## 2. 職員の人材育成に向けた基盤整備

豊岡市社協では、これまで地域福祉担当職員や介護支援専門員、介護職員、看護師等々、様々な専門職員の専門性を高めるために研修等に参加し、「職員研修プロジェクトチーム」による職員研修を実施してきましたが、組織として計画的・体系的な職員育成に向けた研修とはなっていませんでした。

平成26年度は、人材育成を組織的に統括・実施するための部門を設けるとともに、今後の人材育成の基本的な方針となる『人材育成基本方針』の策定を行いました。

### (1) 人材育成基本方針の策定

職員の人材育成については、「職員研修プロジェクトチーム」を中心に、兵庫県社会福祉協議会社会福祉研修所職場研修アドバイザーの参画を得て、14回にわたる「職員研修プロジェクト会議」で協議を行い、「職員組織検討委員会」及び「総務部会」においても協議を重ねました。

職員の現状や望んでいること等を明らかにし、実態に即した実効性の高い人材育成の方向性を探るため、全職員を対象に『人材育成基本方針策定にかかる職員アンケート』を実施し、職員に必要とされる能力・知識、求める研修等について分析を行い、めざす職員像を具現化するとともに、従前開催してきた研修を検証し、課題と対応策の検討を進めました。

地域福祉の推進を担う人材の育成が重要で、全職員が一丸となって、同じ目標に向かい業務を遂行することが必要なことから、今後さらに組織力を高めるために、体系的・継続的な職員育成を目的に『人材育成基本方針』を策定しました。

### (2) 職員研修の実施

研修内容	開催日	対象	内容
新人職員研修	H26.8.27	平成25,26年度 入職職員	講義：「豊岡市社会福祉協議会基本理念・使命について」、「豊岡市社会福祉協議会の事業活動について」 グループワーク：「自己紹介、聴く力をつけよう」、「基本理念からイメージ使用」

<p>接遇・マナー 研修</p>	<p>H26.10.30</p>	<p>新人職員研修 対象者及び、事 業所の指導的 立場の職員</p>	<p>講師：トータルマナー株式会社 講義：「社会人としての心構え、言葉づかい、電話 対応の方法など」</p>
----------------------	------------------	--	--

### 3. 住民に見える社協活動

社協は、住みよい地域づくりを住民とともに推進する組織として、運営等については透明性を十分に確保するために説明責任を果たす必要があります。そのためにも、多くの住民に関心をもってもらうため、自らの組織の存在価値、社協活動をわかりやすく伝える等、しっかりとしたPRに努めました。

#### ○広報紙、ホームページの充実

- ・本会広報紙「とよおかのふくし」にて社協会費の使途や地域福祉活動等の情報を掲載し、運営の透明性の確保に努めました。また、地域活動の紹介や各種団体が開催する研修会の募集記事等を掲載し、市民が必要とする情報を発信しました。
- ・本年4月より本会「ホームページ」を開設し、財務諸表や事業報告等を掲載し透明性のある経営・運営の確保に努めると同時に、各種事業やボランティア募集情報等を掲載し、市民等へタイムリーな情報発信を行いました。

### 4. 安定した財源確保と健全な財政運営

本会は、社協会費や共同募金配分金、寄付金（善意銀行）等の「自主財源」と補助金、受託金収入等の「公的財源」、介護報酬等の「事業収入」を財源として、地域福祉活動の推進に向けた様々な活動を展開するために、安定した財源の確保が求められています。

しかし、本会収入の大半を占めている介護報酬は、制度改正等による影響を受け、地域福祉活動の推進に向けた財源確保に大きな支障をきたしてきました。そこで、民間コンサルティング企業による介護サービス事業の経営分析を行い、その結果を踏まえて中長期的な経営方針・経営目標を立てるとともに、介護サービス事業所ごとに業務改善計画書を定めるなど、介護保険部会を中心に介護サービス事業の経営改善に向けた基盤づくりを行いました。

また、コンサルティング企業による経営分析とあわせ、介護サービス部門だけではなく、法人全体の収支状況に関しても、将来の収支予測等を実施することで、法人全体で健全な財政運営に向けた基盤づくりや、経営分析・経営目標の策定に基づく職員の意識改革を行いました。

#### (1) 社会福祉法人新会計基準への移行

社会福祉法人会計ルール併存の解消による事務の簡素化、社会経済状況の変化を背景に、簡単に分かりやすい新たな社会福祉法人会計基準を国が打ち出し、本会においても本年度、新会計基準への円滑な移行を行うとともに適切な財政管理に努めました。

## (2) 基金・積立金の適切な運用管理

本会に設置している各基金・積立金を現状や将来に向けてすべての見直しを行い、今後の適切な運用管理に努めました。

## (3) 専門的な経営・財務分析の実施

民間コンサルティング企業による介護サービス事業の経営分析を実施しました。

### ○経営分析の結果

- ・外部環境要因…人口減少に伴い高齢者の人口もすでに減少している圏域が出てきている。高齢者の人口が増加している圏域では、重度者の施設入所の増加や競合他社の増加により、新規利用者が利用終了者以上に確保できていない状態である。
- ・内部環境要因…デイサービスセンターの土地建物賃借料や減価償却費が、平成25年度の施設の移譲により増加しており、それを補えるだけの収益が確保できていない状況である。平成30年度には赤字になることが予測されるため、事業所ごとに収益改善目標を設定し、目標管理を組織的に取り組むことで収益改善を図っていく必要がある。

## (4) 介護サービス事業の健全化

経営分析の結果をもとに、今後の経営方針・経営目標の策定を行いました。

### ①健全な経営のための管理体制の強化、サービスの質の向上

サービス種別	経営方針・目標
ケアプランセンター	事業所ごとに収益改善目標を設定し、今後2年間（平成27年度～28年度）で現状より全事業所平均で利用者数を6.5%増加
ヘルパーステーション	事業所ごとに収益改善目標を設定し、今後2年間（平成27年度～28年度）は全事業所で利用者数を現状維持
デイサービスセンター	・事業所ごとに収益改善目標を設定し、今後2年間（平成27年度～28年度）で現状より全事業所平均で利用者数を5.1%増加 ・各デイサービスセンターの費用対効果を分析し、空調、給湯、一般浴槽、特殊浴槽等の修繕計画を平成27年度に策定
各事業所	月次レポートを作成し、目標管理を4半期ごとに評価し、管理職会議、介護保険部会、理事会で経営分析を実施

### ②地域福祉活動と介護サービス事業の総合的な経営

- ・介護サービスの提供と地域福祉の拠点としての総合的な展開にむけ、平成28年度までに小規模多機能型居宅介護事業のモデル実施
- ・地域福祉活動との連携、情報共有を図り、利用者の自立支援に向けたサービス提供の構築



③地域に密着した個別的なケアの推進

- ・城崎、竹野南、日高八代の小規模型のデイサービスセンターは、平成27年度制度改正に伴い、市指定の地域密着型サービスへの移行を検討

④重度化、困難事例への対応の強化

- ・今後増加すると考えられる要介護度の高い重度者、認知症の方、さまざまな生活課題を抱えた方の対応ができるようにサービス提供体制を強化、介護の専門性の向上

【介護保険部会の開催状況】

開催日	協議事項
H26.11.17	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンサルタントによる経営分析結果報告について</li><li>・今後の検討の進め方について</li></ul>
H26.12.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護保険法の改正について</li><li>・介護サービス事業の現状と課題について</li><li>・経営方針、経営目標の方向性について</li></ul>
H27.1.21	<ul style="list-style-type: none"><li>・業務改善計画書について</li><li>・経営方針、経営目標（案）について</li></ul>

# 豊岡市社会福祉協議会事業活動

## 1. 地域福祉活動

### 1-1 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を送ることができるよう、介護予防サービスをはじめ保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行いました。

相談件数 (単位：件)

	介護相談	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
城崎・竹野	236	1,889	85	90	239	20	79	87	116	34	83	2,958
日高	1,032	6,209	252	108	107	22	157	40	94	10	113	8,144
出石・但東	553	2,144	242	106	740	24	112	126	89	63	214	4,413
合計	1,821	10,242	579	304	1,086	66	348	253	299	107	410	15,515

予防給付ケアプラン作成件数 (委託件数含む) (単位：件)

城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
1,565	2,238	1,744	5,547

### 1-2 障害者基幹相談支援センター

障がい者が自立した社会生活を営むことができるよう、判断能力が不十分な方の成年後見制度等の利用促進を図るとともに、虐待被害を受ける障がい者が安定した地域生活を営めるよう虐待の防止・早期発見に努めました。

また、利用者の心身の状況、その置かれている環境に応じ、相談や関係機関と連携を図りながらサービス利用計画を作成するなど援助を総合的に行いました。

支援内容 (単位：件)

虐待無	虐待有	制度利用	障害病状の理解	健康医療	不安解消	保育教育	家族・人間関係	家計経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	合計
7424	479	6669	120	249	304	94	68	64	21	106	13	50	145	7903

ケアプラン作成件数 152件

### 1-3 総合相談・生活支援センター準備室

地域から孤立している制度の狭間や複合的な課題を抱える世帯等からの相談を受け（月平均約120件）、地域住民や関係機関と検討を重ね、地域の社会資源開発（居場所、支え合い活動の担い手）に取り組みました。

### 1-4 福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理について、生活支援員や行政、障害者相談支援事業所、地域包括支援センターなどの関係機関・団体と連携を図りながら支援を行いました。

□基幹的社協としての事業実施地域…豊岡市、香美町、新温泉町

□契約数（平成27年3月末現在）（単位：件）

	豊岡市	香美町	新温泉町	合計
平成26年度	62	11	1	74

□事業の取り組み状況（問い合わせ・相談援助）（単位：件）

福祉サービス利用援助事業に関して	成年後見制度に関して	その他	合計
3,037	26	235	3,295

### 1-5 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯が抱える制度の狭間や複合的な課題に対して、資金の貸し出しだけに止まらず、総合相談・生活支援センター準備室や関係機関と連携を図りながら、利用者の安定した地域生活の支援を行いました。

資金種類	件数	貸付金額
福祉資金	0件	0円
教育支援資金	3件	970,000円
総合支援資金	6件	2,120,000円
緊急小口資金	5件	500,000円

相談件数 161件

### 1-6 法外援護資金

低所得者に対して5万円を限度額として（特別な事情がある場合は10万円まで可）法外援護資金を貸し出すことにより、生活の自立を促しました。貸付期間1年以内。

法外援護資金貸付状況

貸付件数	7件
貸付金額	340,000円

## 1-7 心配ごと相談

誰もが安心して自分らしい生活が送れるよう、地域の人たちが抱える家族、福祉、生計、住宅など多岐にわたるさまざまな悩みについて、専任相談員や民生委員児童委員が相談に応じ、解決のための助言や各関係機関に繋げました。

開設日

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
月～金曜日	第1・3 木曜日	第3 水曜日	毎月10日・ 25日	第1・3 木曜日	第1・3 木曜日

相談件数（単位：件）

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
85件	5件	5件	10件	6件	0件	111件

## 1-8 結婚相談

結婚を望んでいても、出会いの機会が少ないといったことにより結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

結婚相談所開設日

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
第1・3 金曜日	第2 木曜日 (偶数月)	第2 金曜日	毎月10・25日	第1・3 水曜日	第1 木曜日

(単位：件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
相談件数	53	0	3	85	25	3	169
紹介	61	5	3	87	30	7	193
見合い	25	0	1	28	12	3	69
成婚	3	0	1	10	1	0	15
成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)	3	0	1	10	0	0	14

結婚相談所登録者（単位：人）

地域	全但登録者数		計	豊岡市内限定登録者数		計
	男	女		男	女	
豊岡	85	15	100	9	7	16
城崎	2	1	3	0	0	0
竹野	4	0	4	0	0	0
日高	7	2	9	37	32	69
出石	19	1	20	7	1	8
但東	13	0	13	0	0	0
合計	130	19	149	53	40	93

## 1-9 婚活事業

20歳～40歳の独身男女を対象に、各種イベントの開催により出会い・交流の場を創出するとともに、婚活サポーターや婚活サポート企業、婚活イベント協力委員等の市民や企業・団体の協力を得ることで、男女の結婚に向けた様々な機会を提供することを目的として事業を実施しました。

はーとピーイベント開催状況

開催日	参加者 (人)	実施場所	カップル数
H26.4.24	23	とよおかまちバル参加店舗	2
H26.5.24	60	豊岡稽古堂	7
H26.6.21	20	居酒屋 祭	3
H26.8.23	27	神鍋ペンション☆ポムアンナ	4
H26.9.21	23	とよおか1925	5
H26.10.19	24	農家民宿八平だるま	5
H26.11.16	22	ピッツェリア sakai	4
H26.12.6	34	e' ames	2
H27.1.18	18	妙楽寺	3
H27.2.14	7	アカシアキャンプ場	3
H27.3.21	23	民宿 はし本	7
合計	281		45

婚活サポート企業 83社

## 1-10 法律相談

法律の専門家である弁護士が、市民の財産・家族など身近な法律問題へのアドバイスをを行いました。  
開設日…毎月第1火曜日 相談件数…88件

## 1-11 福祉団体活動費助成事業

事業の内容…豊岡市内の福祉団体へ社会参加と交流の場づくり、組織化の支援・促進を目的として共同募金配分金事業より支援を行いました。

助成先	金額(円)
豊岡市老人クラブ連合会	318,000
豊岡市身体障害者福祉協会	312,000
豊岡市手をつなぐ育成会	78,000
豊岡市婦人共励会	186,000
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000
豊岡市遺族会	120,000
豊岡市子ども会連絡協議会	130,440

### 1-1-2 福祉委員活動の推進

地域（行政区）内のアンテナ役として、研修等を通じて困りごとの発見、連絡、人材確保など、地域の福祉課題に応じた活動を行うよう働きかけました。

□福祉委員委嘱数 任期：H26.1.1～H27.12.31（単位：人）

	豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
福祉委員	150	31	42	70	51	52	396
推進委員			99				99

□福祉委員研修会

福祉委員が身近な地域の困りごとや、生活しづらさを感じている住民の立場にたち、地域の課題として考え、解決に向けた活動を促進することを目的に開催しました。

地域	開催日	参加者数（人）	地域	開催日	参加者数（人）
豊岡	H27.3.10	224	日高	H26.6.16	79
				H26.9.22	83
				H27.3.12	76
城崎	H26.9.26 H27.2.26	13 15	出石	H26.9.26	33
				H27.3.12	46
竹野	H26.6.13 H26.6.16 H26.6.18 H26.9.18 H27.3.5	12 12 9 32 30	但東	H26.6.13	22
				H26.6.13	19
				H26.6.20	13
				H26.9.18	31
				H26.2.12	55

### 1-1-3 子ども福祉委員

子どもたちが自分の住む地域やそこに暮らす人の生活や地域活動に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、地域内の活動に参加するなど、子どもたちの体験活動を展開し、郷土愛の醸成と豊かなまちづくりを進めることを目的として小学校の児童に子ども福祉委員を任命しました。

小学校名	人数(人)	小学校名	人数(人)	小学校名	人数(人)
豊岡	13	新田	28	奈佐	31
城崎	27	竹野	15	中竹野	36
竹野南	18	静修	49	弘道	5
福住	24	小坂	8	資母	9
合橋	10	高橋	7		

合計280人

### 1-14 住民座談会

住民が地域（行政区）の課題に目を向け、住民自らが考え行動できる地域づくりをすすめるために、困りごとの解決に向け住民ができること、やってみたいことなどを話し合いました。

地域	地区 行政区	実施日	参加 人数	地域	地区 行政区	実施日	参加 人数
竹野	川南谷区	H2 6 . 5 . 2 9	5	但東	虫生区	H2 6 . 4 . 2	1 1
	金原区	H2 6 . 8 . 1 1	8		赤花区	H2 6 . 8 . 2 6	1 2
出石	平田区	H2 6 . 5 . 2 0	1 8		資母地区	H2 6 . 9 . 2 6	8
	奥小野区	H2 6 . 6 . 6	1 7		高橋地区	H2 6 . 1 1 . 8	1 0
						H2 6 . 1 1 . 2 2	7
						H2 6 . 1 1 . 2 4	6
						H2 6 . 1 1 . 2 8	5
						H2 6 . 1 1 . 2 9	8
						H2 6 . 1 2 . 1 3	5
						H2 7 . 2 . 2 1	3 6
	H2 7 . 2 . 2 8	2 0					
	H2 7 . 3 . 1 5	2 0					
	内町区	H2 6 . 6 . 1 2	4		栗尾区	H2 6 . 1 1 . 1 0	5
	谷山区	H2 6 . 7 . 1 8	2		平田区	H2 6 . 1 1 . 2 0	1 2
東篠区	H2 6 . 8 . 1 9	3	中藤区	H2 6 . 1 1 . 1 2	1 4		
				H2 6 . 1 2 . 1 0	1 2		
八木区	H2 6 . 9 . 3	4	佐田区	H2 6 . 1 1 . 2 7	6		
材木区	H2 6 . 9 . 9	7		H2 6 . 1 2 . 1 9	5		
				H2 7 . 1 . 2 2	4		
松枝区	H2 6 . 9 . 1 9	1 2	H2 7 . 3 . 3	5			
			H2 7 . 3 . 2 4	5			
小人区	H2 6 . 9 . 2 9	5	久畑区	H2 6 . 1 2 . 1 1	1 0		
宵田区	H2 6 . 9 . 3 0	4	本町区	H2 6 . 1 2 . 1 8	1 5		
				H2 6 . 1 0 . 2 8	3 0		
丸中区	H2 6 . 1 1 . 2 8	9	福居区	H2 7 . 2 . 2 8	1 8		
				H2 7 . 1 . 2 9	1 0		
伊豆区	H2 7 . 2 . 9	1 1					

### 1-15 生活支援サポーター養成講座

平成27年の介護保険制度の改正により、要支援者への支援が公的サービス等から地域の支え合いによる支援に移行される中、地域における住民の見守り、生活支援といった支え合い活動の担い手を育成することを目的に全5回のコースを豊岡市と共催で開催しました。修了者は176人です。

実施日	内容
H26.11.11/11.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「介護保険制度改正と地域における支え合いの重要性について」 講師：認定NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長 中村順子 氏</li> <li>・グループワーク「現状の制度や支え合い活動でできていること、できていないこと、やらなければならないこと」</li> </ul>
H26.12.4/12.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状報告「豊岡市における介護サービス事業所による地域支援の現状」</li> <li>・実践発表「介護サービス事業所による地域支援」 発表者：宝塚市社会福祉協議会 ふれあい鹿塩の家 寺坂智子氏 ファシリテーター：NAGATAケアマネジメント研究所 長田貴氏</li> </ul>
H27.1.22/1.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「介護予防と地域づくり～地域で取り組む健康づくり～」 講師：長寿の郷 理学療法士 小森昌彦氏</li> <li>・地域で取り組む健康づくり（介護予防教室紹介）</li> <li>・集いの場で実践できる認知症予防紹介</li> </ul>
H27.2.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「コミュニケーション力アップ～人とのつながりを大切にしよう～」 講師：兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人氏</li> </ul>
H27.3.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「認知症への正しい理解と効果的な予防」 講師：鳥取大学医学部保健学科教授 浦上克哉氏</li> </ul>

### 1-16 地域探検隊

区の役員や老人会、自主防災組織等のメンバーで区内の危険箇所（防犯、交通事故多発、水害の被害等）の点検を行い、区の歴史や誇るべきもの、次世代へ伝えていきたいことを企画し、子ども会（子どもたちと保護者）に伝えていくため、区内の探検を行い、区の危険箇所や歴史拠点などを楽しく探検し、自分たちが住む地域への関心や愛着を深め、地域内のコミュニティづくりをすすめました。

地域	地区・行政区	実施日	参加者 (人)
豊岡	高屋区	H26.9.23	46
竹野	濱須井区	H27.3.8	68
出石	川原区	H26.11.19	50
但東	高橋地区(平田区)	H26.10.5	122



### 1-17 ふれあいいいきサロン

地域の中で気軽に参加でき、地域や近隣同士の交流と助け合いや見守り活動をすすめる「ふれあいいいきサロン」の新規立ち上げや安定した運営に向けた支援を行いました。

いきいきサロンの活動助成金として、市社協から開設1年目～3年目までのいきいきサロンへ年間5万円の助成金を、4年目～6年目のいきいきサロンへ年間3万円の運営助成を行いました。

□活動状況（助成終了後含む）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
サロン数	32	12	11	35	25	20	135

□助成件数

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	合計
サロン数	14	13	14	14	6	10	71

### 1-18 子育てサークル

地域の子育てサークルが安定的に活動ができるよう、助言や子育て支援ボランティアのマッチング等を行いました。

また、活動助成金として年間2万円を上限として助成を行い、地域全体による子育て・子育て支援活動の推進を図りました。

助成件数…9件

### 1-19 とよおかこどもまつり

地域住民やボランティアによる食育やささまざまな体験コーナーを通じて、子育て中の親子が楽しく交流を深め、子育て支援の輪を広げる機会としました。

開催日	場所	来場者数（人）
H26.6.7	豊岡市民プラザ	1,150
H26.7.5	豊岡市民プラザ	170

### 1-20 福祉まつり

福祉団体、関係機関、ボランティア等がバザー販売、福祉活動の啓発、ステージ発表等を行い、多くの参加者が交流を深めました。

地域	開催日	場所	来場者数（人）
城崎	H26.10.19	城崎健康福祉センター	450
竹野	H26.10.19	竹野健康福祉センター 多目的運動広場	630
日高	H26.10.26	日高文化体育館	3,000
出石	H26.10.19	ひぼこホール	1,020
但東	H26.10.19	但東健康福祉センター	900

### 1-21 ひとり暮らし高齢者のつどい

食事会、ボランティアによる踊り、ゲーム等を通じて相互交流を深めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
城崎	H26.6.30	福壽蔵・たじまんま	27
竹野	H26.7.7	竹野健康福祉センター	41
日高	H26.11.24	交流促進センター「湯の花館」	35
	H26.12.1	日高健康福祉センター	70
	H26.12.3	上石区公民館	38
	H27.3.9	八代地区公民館	11
出石	H26.5.24	弘道地区公民館	24
但東	H26.11.8	高橋地区公民館	34
	H26.11.9	資母地区公民館	54
	H26.11.9	合橋地区公民館	31

### 1-22 障害者(児)なかよしゲーム・スポーツ大会

障害者当事者、作業所職員、ボランティア等による実行委員会が企画・運営を行い、レクリエーション・スポーツを通じて相互理解と交流を深めました。

開催日	場所	参加人数
H26.7.5	豊岡総合体育館	199人

### 1-23 みんながハッピー! クリスマス会(障害者(児)クリスマス会)

高校生、短大生が中心となって企画・司会進行を行い、ダンス、クイズ等を通じて当事者、学生、ボランティア等が相互理解と交流を深めました。

開催日	場所	参加人数
H26.12.20	日高文化体育館	414人

## 2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習

### 2-1 ボランティア登録数 (H. 27. 3. 31 現在)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
グループ数	35	34	15	19	52	20	175
加入者数	1,034	350	414	306	628	510	3,242
個人登録者	466	66	11	72	6	98	719

### 2-2 コーディネート件数

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
ボランティア活動の相談・問い合わせ	311	221	21	114	25	262	954
コーディネート件数	298	295	507	96	189	286	1,671

### 2-3 ボランティア連絡会

ボランティア・市民活動センターに登録している個人ボランティア、ボランティアグループを中心として連絡会を開催してボランティア活動の活性化に向けた情報交換を行い、必要な分野では連携できる活動体制作りをめざしました。また、ボランティア・市民活動センターと協働してボランティア活動を通して地域の活性化に協力しました。

	日高	出石	但東
開催回数	2	3	1

### 2-4 児童・生徒のボランティア活動推進事業

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉への理解と関心を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成金を交付しました。

助成先 46校

### 2-5 福祉学習研修会

豊岡市内小・中学校の福祉学習担当教諭を対象とし、福祉学習が単発の体験で終わる福祉学習ではなく、福祉学習を開催する目的、実施内容・方法、目標を社協、地域と協働し進めていく必要性の理解を目的に開催しました。

開催日	場所	参加者数	内容
H27. 8. 7	豊岡健康福祉センター	13人	【講義】 福祉学習って何をするの ～学校から広げる地域とのつながり～ (講師: 大阪教育大学教育学部教養学科 准)

			准教授 新崎国広 氏) 【グループワーク】 新たな気づき・変化 ～学校での福祉学習の取 り組みについて～
--	--	--	---

## 2-6 市民活動パワーアップ講座

NPO法人、市民活動団体等が自分たちの活動を効果的に市民に伝える広報の方法、情報発信等について学ぶことを目的に開催しました。

開催日	場所	参加者数	内容
H27.3.20	豊岡健康福祉センター	25人	「活動内容を広く市民に伝えるポイント」 「伝わるチラシワークショップ」 講師：NPO法人 SEIN 事務局長 宝楽 陸寛氏

## 2-7 ボランティア体験教室

ボランティアグループや関係機関と協働し、福祉を身近な問題として学べる機会として、幅広い体験教室を開催し、参加者の福祉・ボランティアへの関わりの第一歩としました。

- 内容…手話、点字・点訳、車いす、ガイドヘルプ、給食サービス、高齢者疑似体験、福祉施設体験、ふれあいいきいきサロン体験 等
- 延べ参加人数 1,501人

---

## 3 . 介護保険・障害者サービス

---

### 3-1 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

ケアプラン作成件数（単位：件）

事業所	平成 26 年度
豊岡	1,209
豊岡北	1,824
日高	3,141
出石	1,450
但東	1,281
合計	8,905

### 3-2 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

訪問回数（単位：回）

	平成 26 年度
豊岡	12,244
城崎	4,090
竹野	8,891
日高	17,833
日高西	15,056
出石	17,169
但東	14,072
合計	89,355

### 3-3 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

訪問回数（障がい者含む）（単位：回）

	平成26年度
豊岡	614
日高	377
豊岡南	753
合計	1,744

### 3-4 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

延利用者数（身体障がい者含む）（単位：人）

	平成26年度
豊岡西	5,893
豊岡港	5,661
城崎	2,569
竹野	6,227
竹野南	2,498
日高中央	5,813
日高西	6,123
日高東	5,025
日高八代	2,085
但東	6,509
合計	48,403

### 3-5 福祉用具貸与事業

利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な福祉用具の選定の援助、取り付け、調整等を行い、福祉用具を貸与することにより、利用者の日常生活上の便宜を図るとともに、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

延貸出件数（単位：件）

	平成26年度
福祉用具レンタル	12,582

### 3-6 障害者サービス事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある身体障がい、知的障がい、精神障がいをもつ利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や移動介助を提供しました。

#### 居宅介護 訪問回数

(身体介護、家事援助、重度訪問、通院介助、同行援護)

(単位：回)

	平成 26 年度
豊岡	1,296
城崎	606
竹野	783
日高	1,182
日高西	553
出石	1,288
但東	579
合計	6,287

#### 移動支援 延利用者数 (単位：人)

	平成 26 年度
豊岡	20
城崎	0
竹野	39
日高	0
日高西	17
出石	36
但東	0
合計	112

## 4. 在宅福祉サービス

### 4-1 給食サービス事業（食の自立支援事業+自主事業）

ひとり暮らし・ふたり暮らし高齢者などに、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた弁当を作り、お届けしました。

	城崎	竹野	出石	但東
実施回数	149	145	148	149
延利用者（人）	2,454	2,510	3,129	2,943

### 4-2 福祉用具貸与事業（介護保険外）

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を貸出し、自立生活支援を行いました。  
貸与品目…電動ベッド、手動ギャッジベッド、車いす、エアーマット、パラフロートマット、松葉杖、  
歩行補助杖、歩行器、シャワーチェア、ポータブルトイレ、介護テーブル  
貸出件数…351件

### 4-3 家族介護教室・家族介護者交流事業

在宅の介護者に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する  
機会の提供や、心身のリフレッシュを図るために日帰り旅行や食事会を行いました。

	城崎	竹野	出石	但東
開催回数（回）	8	8	10	4
延参加者（人）	30	84	72	39

### 4-4 生きがい活動支援通所事業

高齢者の方の閉じこもりの予防として、仲間づくりや交流の場としての役割を果たしました。また、ゲ  
ームや頭の体操など様々なレクリエーションや、作品づくりをする事で介護予防の効果も果たしました。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
開催回数（回）	54	23	42	12	236	68
延利用者数（人）	283	275	693	133	2,571	784

### 4-5 軽度生活援助事業

ひとり暮らし高齢者で軽度の援助が必要な方に家事援助などのサービスを提供し、介護予防に努めた。

	豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
実利用者（人）	17	4	2	2	0	3	1	29
訪問回数（回）	471	116	65	13	0	90	45	800



#### 4-6 米寿者祝福事業

87歳を迎える方を対象に米寿のお祝いとして、ボランティアの協力を得て記念撮影を行い、9月の高齢者保健福祉月間に民生委員児童委員などから写真を贈呈しました。対象者602名中、468名の方が写真を受け取られました。

#### 4-7 最高齢者・最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金（各1万円）を贈呈しました。

#### 4-8 新100歳祝福事業

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金（各1万円）を贈呈しました。対象者は28名です。

#### 4-9 葬祭用具の貸し出し

竹野、日高、出石地区センターに葬祭用具を一式ずつ配置しました。料金は1万円です。

貸出件数 （単位：件）

竹野	日高	出石	計
0	0	4	4

## 5. 法人運営

### 5-1 理事会（理事定数18名）

回数	開催日	開催場所	出席理事数	協議事項
1	H26.4.3	豊岡健康福祉センター	18人+監事2人	第1号議案 理事長・副理事長の互選について 第2号議案 職務代理者の指名について 第3号議案 評議員の同意について
2	H26.4.24	豊岡健康福祉センター	16人+監事1人	報告事項6件
3	H26.5.22	豊岡健康福祉センター	15人+監事1人	報告事項1件 第4号議案 豊岡市社会福祉協議会移送サービス事業運営規程の廃止について 第5号議案 平成25年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第6号議案 平成25年度豊岡市社会福祉協議会一般会計決算について 第7号議案 平成25年度豊岡市社会福祉協議会公益事業会計決算について 第8号議案 平成25年度豊岡市社会福祉協議会収益事業会計決算について 第9号議案 平成25年度豊岡市社会福祉協議会財産目録について 第10号議案 豊岡市社会福祉協議会職員6月賞与について
4	H26.6.26	豊岡健康福祉センター	15人+監事2人	報告事項3件
5	H26.7.24	豊岡健康福祉センター	17人+監事1人	報告事項2件 第11号議案 平成26年度共同募金（平成27年度事業）「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会事業充当計画について
6	H26.8.28	豊岡健康福祉センター	17人+監事1人	報告事項4件 第12号議案 訪問入浴事業所の統合について 第13号議案 社会福祉法人豊岡市社会福祉協議会豊岡訪問入浴事業所運営規程等の一部改正について

7	H26. 9.25	豊岡健康福祉センター	18人+ 監事 2人	報告事項4件
8	H26. 10.23	豊岡健康福祉センター	15人+ 監事 2人	報告事項4件 第14号議案 豊岡市社会福祉協議会職員12月賞与について
9	H26. 11.27	豊岡健康福祉センター	14人+ 監事 2人	報告事項5件 第15号議案 平成26年度歳末たすけあい運動配分について
10	H26. 12.19	豊岡健康福祉センター	12人+ 監事 2人	報告事項3件 第16号議案 評議員の選任について
11	H27. 1.22	豊岡健康福祉センター	15人+ 監事 1人	報告事項5件 第17号議案 職員給与規程の一部改正について
12	H27. 2.26	豊岡健康福祉センター	16人+ 監事 2人	報告事項7件 第18号議案 豊岡市社会福祉協議会補欠評議員の同意について 第19号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則等の一部改正について
13	H27. 3.18	豊岡健康福祉センター	16人+ 監事 1人	報告事項6件 第20号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 第21号議案 豊岡市社会福祉協議会ボランティア基金の設置管理及び処分に関する規程の廃止について 第22号議案 豊岡市社会福祉協議会葬祭事業規程の廃止について 第23号議案 豊岡市社会福祉協議会葬祭事業の廃止に伴う残余財産の処分について 第24号議案 豊岡市社会福祉協議会経理規程等の一部改正について 第25号議案 平成26年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について 第26号議案 豊岡市社会福祉協議会指定介護予防支援事業「豊岡地域包括支援センター」運営規程の制定について 第27号議案 平成27年度豊岡市社会福祉協議会事業計画について 第28号議案 平成27年度豊岡市社会

				福祉協議会資金収支予算について 第29号議案 豊岡市社会福祉協議会補 欠評議員の同意について
--	--	--	--	--

### 5-2 評議委員会

回数	開催日	開催場所	出席評議員数	協議事項
1	H26. 5.27	豊岡健康福 祉センター	32人	第1号議案 平成25年度豊岡市社会福 祉協議会事業報告について 第2号議案 平成25年度豊岡市社会福 祉協議会一般会計決算について 第3号議案 平成25年度豊岡市社会福 祉協議会公益事業会計決算について 第4号議案 平成25年度豊岡市社会福 祉協議会収益事業会計決算について 第5号議案 平成25年度豊岡市社会福 祉協議会財産目録について
2	H27. 3.25	豊岡健康福 祉センター	27人	報告事項2件 第6号議案 豊岡市社会福祉協議会定款 の一部改正について 第7号議案 平成26年度豊岡市社会福 祉協議会第1次資金収支補正予算につ いて 第8号議案 平成27年度豊岡市社会福 祉協議会事業計画について 第9号議案 平成27年度豊岡市社会福 祉協議会資金収支予算について 第10号議案 豊岡市社会福祉協議会役員 の選任について

### 5-3 正副理事長会議

開催回数… 12回

### 5-4 管理職会議

開催回数… 11回

### 5-5 地区センター運営委員会

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
5回	6回	6回	6回	6回	6回

### 5-6 善意銀行

	件数	金額
平成26年度	391件	18,450,817円

#### 【善意銀行運営委員会開催状況】

開催日	協議事項
H26.11.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度預託状況について</li> <li>・平成26年度10万円以上預託者（上半期）について</li> <li>・平成26年度収支状況（上半期）及び今後の見込について 他</li> </ul>
H27.3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度預託状況（下半期）について</li> <li>・平成26年度収支見込について</li> <li>・平成27年度善意銀行運営事業予算（案）について 他</li> </ul>

### 5-7 社協会費

#### 一般会費（一世帯年額1,200円）

年度	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
平成26年度	32,729世帯	28,649,920円	23,875世帯	122,280円

#### 賛助・施設会費（年額2,000円以上）

年度	賛助会費		施設会費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金額	件数	金額		
平成26年度	725	3,165,800円	29	107,000円	31,922,720円	△60,220円